
2018年度第3四半期 決算概要

2019年2月8日

三機工業株式会社

目次

決算のポイント	03
2018年度第3四半期 累計期間業績（連結）	04
セグメント別受注動向（連結）	05
セグメント別売上動向（連結）	06
セグメント別経常利益（連結）	07
四半期別業績（連結）	08
直近5年間の業績推移（連結）〈受注・売上〉	09
直近5年間の業績推移（連結）〈利益〉	10
主要業種別受注動向（連結）	11
要素別受注動向	12
主な大型受注物件	13
主な大型完成工事物件	14
10億円以上の大型受注物件（建物用途別）	15
利益改善要因と施策	16
貸借対照表（連結）	17
キャッシュ・フロー計算書（連結）	18
2018年度通期業績予想（連結）	19
2018年度セグメント別受注・売上予想（連結）	20

決算のポイント

〈受注〉

建築設備事業では、全ての事業において対前年同期比で増加。
なかでも産業空調は、上期に引き続き大型物件を中心に大幅増加となった。
機械システムは前年同期より増加したものの、環境システムは前年同期に大型物件を受注した影響で減少した。
結果として全体の受注高は前年同期を上回り、次期繰越高も増加した。

〈売上・利益〉

建築設備事業の売上高は、産業空調が前年度から今年度にかけての受注増加により大幅増収となる等、全ての事業において対前年同期比で増加した。

また、機械システムと環境システムについても増加となり、結果として、全体の売上高は大幅増収となった。

継続的な原価管理の徹底、作業効率の向上等の取組みにより、売上総利益率は前年同期比で改善。さらに産業空調を中心とした増収等により、全ての利益項目において増益となった。

【全体業績】

2018年度第3四半期 累計期間業績（連結）

- ・受注高は産業空調を中心とした建築設備事業や機械システムの大型物件受注等により増加し、次期繰越高も増加。
- ・売上高についても産業空調の大幅増加をはじめ、全ての事業で増収となり、対前年同期比で大幅増加。
- ・産業空調を中心とした大幅増収と併せ、継続的な作業効率の向上への取組み等による売上総利益率の改善等により、全ての利益項目において増益となった。

（単位：百万円）

	2016年 12月	2017年 12月	2018年 12月	前年同期対比	増減率（%）
受注高	138,163	139,657	155,048	15,390	11.0
次期繰越高	129,988	147,805	157,714	9,909	6.7
売上高	114,563	115,608	142,046	26,438	22.9
完成工事高	113,289	114,182	140,521	26,338	23.1
不動産事業等売上高	1,274	1,425	1,524	99	7.0
売上総利益	13,710	15,315	19,425	4,110	26.8
完成工事総利益	13,431	14,788	18,914	4,126	27.9
不動産事業等総利益	279	526	510	△15	△3.0
売上総利益率（%）	12.0	13.2	13.7	0.5 _{pt}	—
販売費及び一般管理費	11,885	13,022	14,609	1,586	12.2
営業利益	1,825	2,292	4,815	2,523	110.1
営業外損益	629	753	573	△180	△23.9
経常利益	2,454	3,045	5,388	2,342	76.9
特別損益（△は損失）	△76	△1,515	△1,317	197	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,578	1,023	2,540	1,516	148.1

【受注】

セグメント別受注動向（連結）

- ・ 建築設備事業では、全ての事業において対前年同期比で増加。なかでも産業空調は、上期に引き続き大型物件を中心に大幅増加となった。
- ・ プラント設備事業では、機械システムが今期大型物件受注等により増加。環境システムは前年同期に大型物件を受注した影響で減少。

（単位：百万円）

セグメント	2016年12月	2017年12月	2018年12月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	50,074	43,564	46,375	2,810	6.5
産業空調	35,684	41,421	60,046	18,624	45.0
電気	14,570	17,417	17,588	170	1.0
ファシリティシステム	7,898	7,489	8,406	916	12.2
建築設備計	108,228	109,893	132,416	22,522	20.5
機械システム	5,689	8,293	9,526	1,232	14.9
環境システム	23,900	20,355	12,674	△7,680	△37.7
プラント設備計	29,590	28,649	22,200	△6,448	△22.5
設備工事計	137,818	138,542	154,617	16,074	11.6
不動産	1,189	1,311	1,409	98	7.5
その他	371	465	575	109	23.5
調整額*	△1,216	△662	△1,554	△891	—
合計	138,163	139,657	155,048	15,390	11.0

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【売上】

セグメント別売上動向（連結）

・建築設備事業では、産業空調が前年度から今年度にかけての受注増加により大幅増収となった。ビル空調・電気・ファシリティシステムも堅調に推移し、全ての事業において対前年同期比で増加。

・プラント設備事業では、機械システム・環境システムともに増加し、結果として全体の売上高は大幅増加となった。

（単位：百万円）

セグメント	2016年12月	2017年12月	2018年12月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	39,264	43,909	46,847	2,938	6.7
産業空調	35,706	32,583	52,653	20,069	61.6
電気	14,271	13,859	15,147	1,287	9.3
ファシリティシステム	7,296	5,348	6,984	1,636	30.6
建築設備計	96,537	95,700	121,632	25,932	27.1
機械システム	5,908	6,696	7,089	393	5.9
環境システム	11,515	12,165	12,778	612	5.0
プラント設備計	17,424	18,862	19,868	1,006	5.3
設備工事計	113,961	114,562	141,500	26,938	23.5
不動産	1,189	1,311	1,409	98	7.5
その他	363	435	461	25	5.9
調整額*	△952	△700	△1,325	△624	—
合計	114,563	115,608	142,046	26,438	22.9

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【利益】

セグメント別経常利益（連結）

（単位：百万円）

セグメント		2016年12月	2017年12月	2018年12月	前年同期対比	増減率 (%)
セグメント利益又は損失(△)	建築設備	1,425	1,926	4,873	2,947	153.0
	機械システム	45	33	△43	△77	—
	環境システム	△204	△331	△202	129	—
	設備工事計	1,266	1,628	4,627	2,999	184.2
	不動産	147	380	351	△29	△7.6
	その他	25	53	28	△24	△46.8
	調整額*	1,014	983	380	△602	△61.3
	合計	2,454	3,045	5,388	2,342	76.9

*セグメント利益又は損失(△)の調整額は各セグメントに配分していない全社損益等。
全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息および配当金、全社費用の配賦差額等。

【全体業績】 四半期別業績（連結）

SANKI

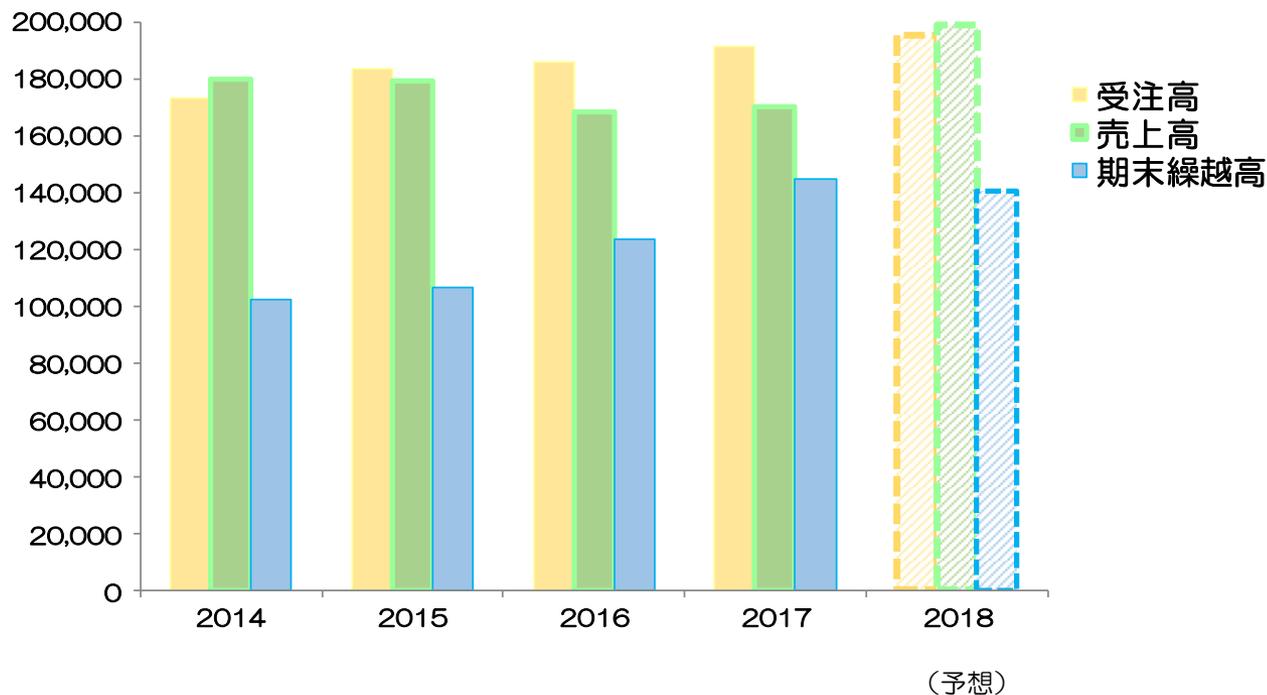
（単位：百万円）

	2016年度				2017年度				2018年度		
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3
受注高	55,338	35,573	47,250	47,716	38,209	57,566	43,881	51,456	50,885	52,934	51,228
売上高	33,866	36,474	44,222	53,949	32,933	39,573	43,102	54,548	35,252	45,470	61,323
売上総利益	3,905	4,238	5,566	8,827	3,482	5,837	5,995	9,744	4,329	6,442	8,654
売上総利益率（%）	11.5	11.6	12.6	16.4	10.6	14.8	13.9	17.9	12.3	14.2	14.1
販売費及び一般管理費	4,171	3,915	3,798	4,640	4,442	4,386	4,193	5,443	4,571	5,072	4,965
営業利益（△は損失）	△265	323	1,767	4,187	△960	1,450	1,802	4,300	△242	1,369	3,688
営業利益率（%）	△0.8	0.9	4.0	7.8	△2.9	3.7	4.2	7.9	△0.7	3.0	6.0
経常利益（△は損失）	27	341	2,085	4,425	△593	1,546	2,093	4,388	92	1,447	3,848
特別損益（△は損失）	—	△32	△43	200	△327	△806	△381	536	△147	△3	△1,167
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は損失）	△2	232	1,349	3,119	△604	508	1,119	2,882	△66	862	1,743

【業績推移】

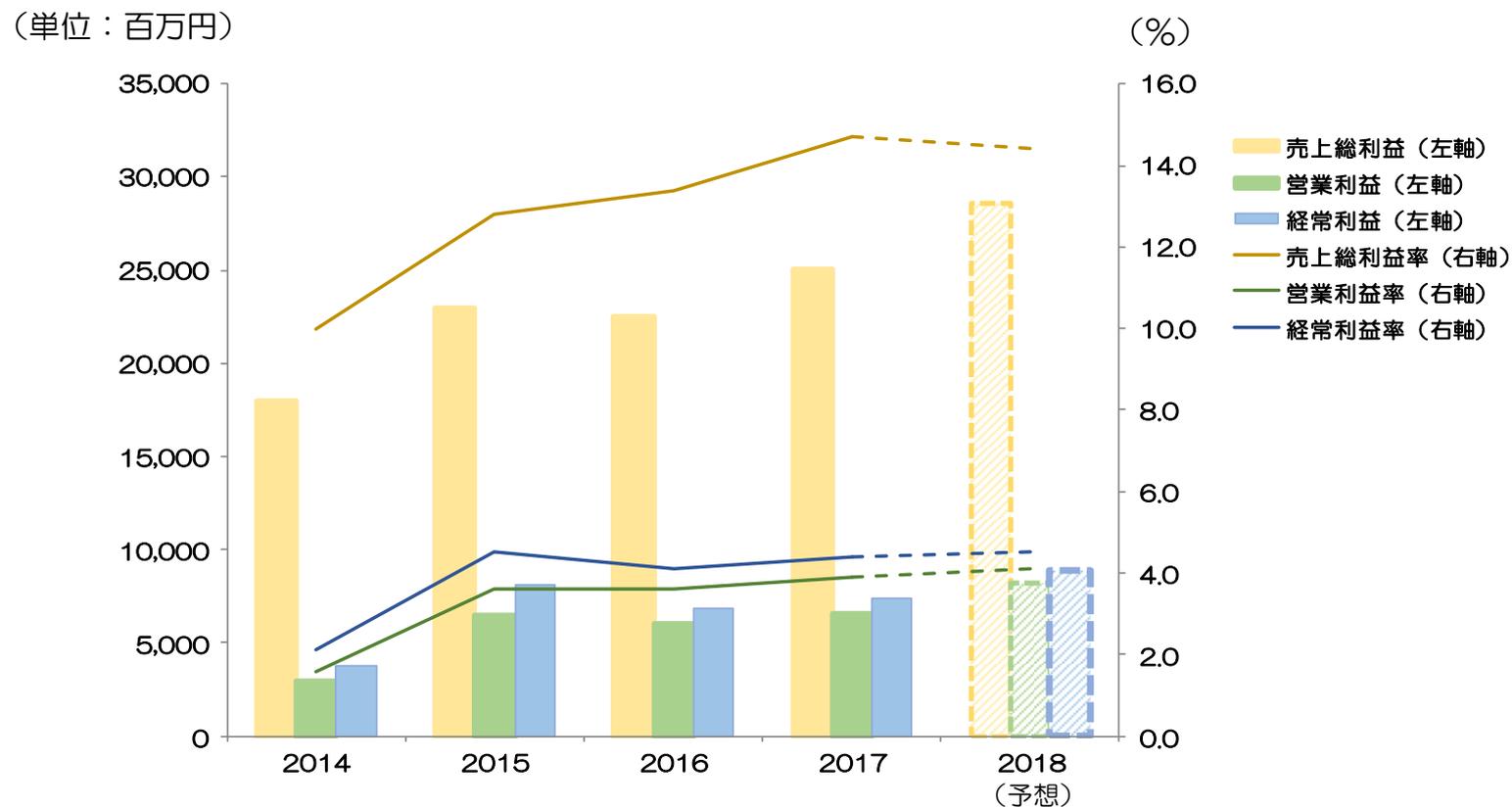
直近5年間の業績推移（連結）＜受注・売上＞

（単位：百万円）



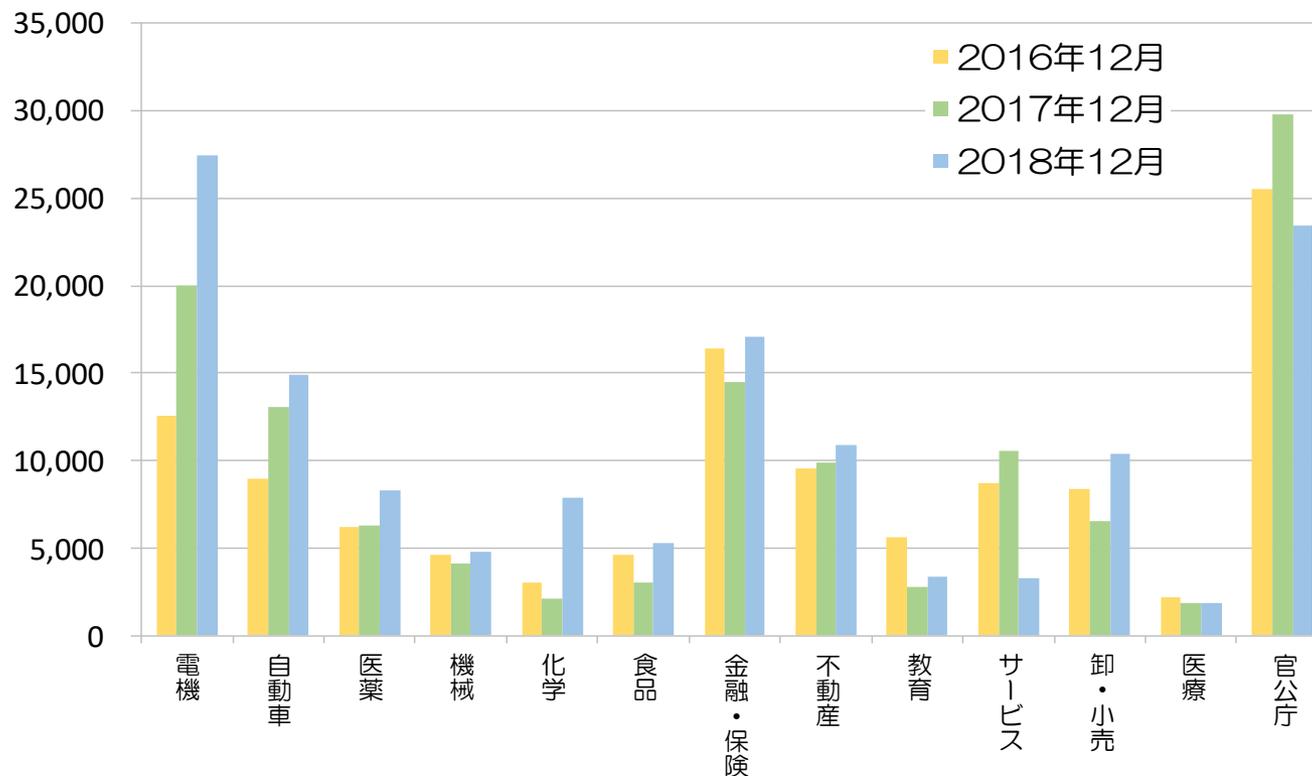
【業績推移】

直近5年間の業績推移（連結）＜利益＞



【受注】 主要業種別受注動向（連結）

（単位：百万円）



【受注】

要素別受注動向

SANKI

(単位：百万円)

	2015年度 通期	2016年度 通期	2017年度 通期	2017年 12月 A	2018年 12月 B	前年同期 対比 B-A
受注高（個別：建築設備）	145,069	139,997	147,013	105,366	125,883	20,516
間接受注高（個別：建築設備）	72,751	61,493	67,345	49,210	54,560	5,349
間接受注工事高比率（個別：建築設備）（%）	50.1	43.9	45.8	46.7	43.3	△3.4 pt.
受注高（連結）	183,270	185,880	191,113	139,657	155,048	15,390
海外工事受注高（連結）*	2,343	1,612	1,246	857	2,211	1,354
海外工事受注高比率（連結）（%）	1.3	0.9	0.7	0.6	1.4	0.8 pt.
リニューアル工事受注高（連結）	99,920	101,114	101,597	77,942	89,589	11,646
リニューアル工事受注高比率（連結）（%）	54.5	54.4	53.2	55.8	57.8	2.0 pt.
<参考>リニューアル工事売上高（連結）	96,325	93,602	94,601	61,577	77,759	16,181

*非連結子会社の三机建筑工程（上海）有限公司は、海外工事受注高に含まない。

【受注】 主な大型受注物件

SANKI

- 日本生命町田物流施設
（空調・衛生・電気設備工事）＜新築＞
- NGKセラミックデバイス多治見工場
（空調設備工事）＜新築＞
- 東芝メモリ四日市工場260棟第4期
（空調設備工事）＜増築＞
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
山形テクノロジーセンター
（空調・電気設備工事）＜改修＞
- 都立東大和療育センター
（衛生設備工事）＜改修＞
- 高島屋東別館ホテル化改修
（空調・衛生設備工事）＜改修＞
- 東芝メモリ岩手 510棟第1期
（空調設備工事）＜新築＞
- 理化学研究所 平成30年度次世代超高速電子計算機システム向け設備増強工事
（空調設備工事）＜増築＞
- トヨタ自動車P1棟 Phase II
（空調・電気設備工事）＜新築・改修＞
- 成田国際空港 T1S#53メイク増設・BHS能力増強工事
（搬送設備工事）＜更新＞

他5件

【売上】 主な大型完成工事物件

SANKI

- トヨタ自動車P1棟
（空調・電気設備工事）＜新築＞
- 日本橋二丁目地区第一種市街地再開発事業（C・D街区）
（衛生設備工事）＜新築＞
- 東芝メモリ四日市工場260棟第3期
（空調設備工事）＜増築＞
- 福岡高地家簡裁庁舎
（空調・衛生設備工事）＜新築＞
- 横浜ビジネスパークA1棟
（空調設備工事）＜改修＞
- 東芝メモリ四日市工場260棟第4期
（空調設備工事）＜増築＞

【受注】

SANKI

10億円以上の大型受注物件（建物用途別）

	2016年12月		2017年12月		2018年12月	
事務所	3件	10件 (31,848 百万円) <small>*うち直接受注 7件 間接受注 3件</small>	1件	14件 (27,332 百万円) <small>*うち直接受注 6件 間接受注 8件</small>	1件	15件 (31,293 百万円) <small>*うち直接受注 7件 間接受注 8件</small>
ホテル・旅館	—		1件		1件	
工場	2件		3件		8件	
試験・研究所	1件		1件		1件	
倉庫	—		—		1件	
病院・療養所	1件		—		1件	
集合住宅	—		2件		—	
体育館	—		1件		1件	
その他屋内	—		2件		—	
鉄道・空港施設	—		1件		1件	
発電所・変電所	1件		—		—	
廃棄物処理場	1件		2件		—	
上・下水処理場	1件		—		—	

【利益】

利益改善要因と施策

- 外部環境の改善
- 原価管理の徹底（内部統制プロセスの徹底）
- 現場サポート体制の強化
 - ・ 調達本部(2015年度新設)による購買業務支援の強化
(調達システムのWEB化)
 - ・ 各支社・支店による現場書類作成業務支援の拡大実施
 - ・ 設計支援センター(2016年度新設)による設計業務支援の拡大
 - ・ 現場業務の支援・指導に特化した「技術支援センター」の創設
(2018年度)
 - ・ 施工現場におけるICT支援(タブレット端末を全現場に導入)
 - ・ 技術エキスパートによる品質監査
- 協力会社との関係強化
 - ・ 全国協力会連絡会の実施
 - ・ 三機スーパーマイスター制度の実施
 - ・ 三機ベストパートナー制度の実施

【財務状況】 貸借対照表（連結）

SANKI

（単位：百万円）

	2017年12月	2017年度末	2018年12月	前年度末対比	増減率（%）
流動資産	98,425	122,901	121,637	△1,263	△1.0
固定資産	58,809	54,112	54,164	52	0.1
流動負債	59,677	73,787	75,457	1,670	2.3
固定負債	12,562	17,035	16,647	△388	△2.3
純資産額	84,994	86,191	83,696	△2,494	△2.9
総資産額	157,234	177,014	175,802	△1,211	△0.7
1株当たり純資産額（円）	1,400.02	1,419.77	1,395.39	△24.38	△1.7
自己資本比率（%）	53.9	48.6	47.5	△1.1 pt.	—
有利子負債（連結）	4,564	13,504	11,670	△1,834	△13.6

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2018年度期首から適用しており、2017年度の貸借対照表の一部を組替えしている。
その結果、自己資本比率も変動している。

キャッシュ・フロー計算書（連結）

- 現金および現金同等物の残高は、対前年度末で減少（対前年同期では増加）
 営業活動によるキャッシュ・フローの減少は、主に仕入債務が増加した一方、売上債権の増加および利益の増加に伴い法人税等の支払額が増えたことによる
 - 投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、主に有形固定資産の取得による
 - 財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、主に長期借入金の返済および配当金の支払いによる
- （単位：百万円）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2017年 12月	2018年 12月
営業キャッシュ・フロー	△139	5,220	10,845	6,306	△420	△74
投資キャッシュ・フロー	3,440	5,520	△1,644	△2,510	△5,217	△3,778
財務キャッシュ・フロー	△2,901	△1,826	△2,458	1,814	△7,084	△5,319
期末現金及び現金同等物	23,667	32,501	39,187	44,866	26,521	35,678

【業績予想】

2018年度 通期業績予想（連結）

SANKI

- ・2018年度通期業績予想については、好調な受注動向により受注高（次期繰越高）を11月9日期中予想から上方修正。売上高および各利益項目については、上方修正した11月9日期中予想を据え置いており、対前年度比で増収増益の計画。

（単位：百万円）

	2018年度通期予想 (2018年11月9日 期中予想)	2018年度通期予想 (2019年2月8日 期中予想)	差 額	〈参考〉中期経営計画 “Century2025” Phase1 (2016年度～2018年度) 2018年度業績目標
受 注 高	185,000	195,000	10,000	—
次期繰越高	130,712	140,712	10,000	—
売 上 高	199,000	199,000	—	195,000
売上総利益	28,600	28,600	—	24,000
売上総利益率 (%)	14.4	14.4	—	12.3
営業利益	8,200	8,200	—	7,500
経常利益	8,900	8,900	—	8,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,900	5,900	—	—

【受注予想・売上予想】

SANKI

2018年度 セグメント別受注・売上予想（連結）

（単位：百万円）

セグメント	2018年度 受注高予想	2018年度 売上高予想
ビル空調衛生	58,400	63,300
産業空調	73,000	70,000
電気	21,000	20,000
ファシリティシステム	9,800	9,900
建築設備 計	162,200	163,200
機械システム	12,000	12,000
環境システム	19,000	22,000
プラント設備 計	31,000	34,000
設備工事 計	193,200	197,200
不動産	1,800	1,800
その他	600	600
調整額 *	△600	△600
合計	195,000	199,000

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

将来の見通しに対するご留意事項

本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、2月8日時点で入手可能な情報に基づいてなされた当社の予測、想定、評価および判断によるものです。

従いまして、かかる予測等に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、当社の将来の業績、経営結果等と異なる可能性があります。

<主な要因>

- 取引先の信用リスク
- 資機材価格および労務費の急激な変動
- 株式相場の変動
- 退職給付費用および債務の増加
- カントリーリスク
- 設備工事等における事故および災害
- 不採算工事の発生
- 不動産事業におけるリスク
- 訴訟等に関するリスク
- 法的規制等によるリスク
- 災害等に関するリスク

本件に関する問い合わせ先
経営企画室 広報・IR部
TEL：03-6367-7041